

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	親子山村留学推進事業
事業主体 (連絡先)	北相木村 長野県南佐久郡北相木村 2744 0267-77-2111 担当 藤森英二
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,163,345 円 (うち支援金 : 847,000 円)

### 事業内容

小学校の児童数確保や地域の活性化につながるため、親子での山村留学事業を行うあたり、募集の妨げにもなる、洗濯機やテレビ等の電化製品などを用意し、あわせて親子ともに村での生活を楽しく充実したものにもらえるよう、農業体験の支援を行った。



【農業体験】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 予定していた新規の4組は、全て親子山村留学へ応募され、目標は達成できた。その結果、児童、保護者、保育園児含め、5世帯14名がこの制度により、住民となっている。
- ② 継続の親子も含め、児童を6名確保し、特に低学年の児童が含まれることで、全ての複式学級が解消された。これは通常の山村留学のみでは難しい課題を克服したと言える。
- ③ 5世帯がそれぞれ、PTA活動や地域の行事、公民館活動に参加し、地区の活性化につながっている。また「子どもの声が聞けてうれしい」という声も聞こえている。
- ④ 5世帯全てが来年度への継続を希望したことは、本事業の大きな成果と考えている。さらに交流の中で新たな希望世帯を生んでおり、今後につながる結果となった。

### 【目標・ねらい】

- ① 親子山村留学の応募数の確保
- ② 小学校児童数の確保
- ③ 地域活動の活性化
- ④ 来年度への継続

### ※自己評価【B】

### 【理由】

複式学級の解消や、地域の活性化といった、目標の数値や効果は達成された。また来年への継続も確定し、事業の効果が表れていると評価したい。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度の親子山村留学5世帯全てが、来年度への継続を希望したことは大きな成果であった。またPTAや地域行事への参加は、児童数や人口の確保のみではない効果をあげている。今後もこの事業を継続発展させ、やがてはIターン家族や、将来に渡る交流人口の増加につなげていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある